

緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2022年9月1日 No. 34

新たなジョブローテーション

生活・家庭状況
キャリアプラン
労使の確認事項

無視?

本宮地
交急団
大宮

シリーズ③

「新たなジョブローテーション」における労使の確認事項



○駅を極める、車掌を極める、運転士を極めるというキャリアも希望として否定しない
○施策の趣旨である社員の夢や希望に近づけられるよう日々のコミュニケーションを図り、丁寧な面談を行える体制をつくる考えである。

しかし、大宮支社の現実… 【集会(2022.8.1)で出された声の一部】



【A君のケース】運転士を極めることをキャリアプランとして伝えてきたが、突然駅輸送を懲遷された。「希望していない」と主張したが、たった2回の面談で8日後に発令通知を渡された。理由を聞いても、「チャンスだ」と言われるのみだった。納得感は全く無い。家族の状況等配慮すべき事情があり、今は異動が困難であることを伝えたら「転勤で家庭が崩壊するのか?」と言われ、怒りがさらに増した。



【B君のケース】キャリアプランとして指導担当を描いていた。しかし、今回突然駅への異動を懲遷され、キャリアプランが否定された。懲遷から10日で発令通知が出た。人生が懸かっているのに、あっという間に決められた。

「なぜ私が異動になるのか」や勤務地について説明を求めたが、私でなくてもよい理由ばかりが示された。納得感が全くない。配属先では名札や必要なカード等も用意されていなかった。

【C君のケース】懲遷されてから非常に短い間に異動が決まった。転勤が発生する可能性がある事は理解するが、異動という生活環境が大きく変わる場面なのに、時間が無すぎる。

家族との予定も変更せざるを得なくなった。社員とのコミュニケーションをしっかりと取って欲しい。



夢

今回のジョブ異動で
病欠者3名

【D君のケース】教導運転士・指導担当を目指すことをキャリアプランとして伝えてきたが、突然「俎上に上がっている」「場所もエリアも職種も決まっていない」と言われた。

その後、たった10日で異動。会社は「次の職場で頑張ってもらいたい人と、残って頑張ってもらいたい人で分けた」と述べ、希望を尊重する姿勢は無かった。



今こそ東労組の必要性を語り合い、共にたたかおう